

合格小論文を書く

《書く以前に重要なこと》

- ・制限時間内に書き上げる。
- ・丁寧な字で書く（下手な字と雑な字は違う）。
- ・規定字数の8割以上書く（最後の一行まで書くべき）。
- ・原稿用紙の使い方を守る（ただし、注意書きに従う）。
- ・課題文と設問をよく読み、内容を正しく理解する。
- ・600字を丁寧な字で清書できる時間を知っておく。

《小論文の構成（型）を守る》

- ・書く内容と構成を考えてから書き始める。
- ・序論・本論・結論の三段落構成で書く。
- ・課題文の意見に対する自分の考え（賛成か反対など）を明確にする。
- ・第一段落は課題文に書かれた筆者の意見を要約し、これに対する自身の立場を明確にして80〜100字程度でまとめる。
- ・課題文の意見に対して賛成の立場の場合は、第二段落で課題文の筆者の意見を発展させて書く。
- ・課題文の意見に対して反対の場合は、第二段落は「たしかに…、しかし…」の形式で筆者の意見を部分的に認めつつ反論する。
- ・自分の意見の根拠となる具体例を必ず書くこと。
- ・第三段落は、第二段落で述べた自身の意見に基づいて、問題の解決策や今後のあり方などをポジティブな視点で書く。